

代表質問の要旨です

第 1 回定例会では、2 月 28 日に、市長の施政方針（平成 23 年度の西東京市政の方針）に対して、会派ごとに質問をする「代表質問」が行われました。

2 面～3 面では、この代表質問で行われた主な質問内容について、市民の皆さんにお知らせいたします。

◇この全内容については、5 月下旬に発行予定の会議録をご覧ください。会議録は、両庁舎情報公開コーナー、全図書館、市ホームページでご覧いただけます。

◇市長の施政方針の内容は、市報 3 月 15 日号または市ホームページでご覧いただけます。

自由民主党西東京市議団

重要課題に具体的な取り組みを！ 学校施設適正配置のプランを示せ

質問者 稲垣 裕一

地域主権について

質問 市長は自治体の長としてどのような姿が望ましく、どう活動していくのか。

市長 財源的な裏づけや制度設計過程での地方の意思の反映が不可欠であり、自己決定・自己責任が全うできることが重要である。

質問 地域主権関連 3 法案の可決を想定して市として動いているのか。

市長 市長会の中で企画財政担当部長会、企画研究会を中心に実務的な検討を行っている。

健康都市宣言について

質問 宣言文案が策定済みかと思うがどのような内容か。宣言をすることが目的ではなく、さまざまな事業展開をすることが真の目的と考えるが、具体的な方針目的達成のための事業展開を明確にすべきでないか。

市長 次の 5 つの柱で構成している。①みずからの健康状態を知り、快適な生活を楽します。②地元の野菜がある食生活を楽します。③運動やスポーツのある生活を楽します。④休養を上手にとり、心穏やかな生活を楽します。⑤身近なところから学び、創造的な生活を楽します。

第 3 次行財政改革について

質問 歳入歳出面の取り組み成果は平成 23 年度予算にどのように反映されたのか。

市長 施策評価により総合計画 38 施策を評価し、拡充

・重点化分野を特定し、効率化を図るべきと判断したものは予算を原則縮減し資源の適正配分をした。

質問 1 市 2 庁舎体制の考への整理は。

市長 公共施設の適正配置・有効活用を取り組みの中で検討を進めていく。

東大農場について

質問 東大が都に対して整備計画を提出した。東京都環境保全審議会の許可のほか都が施行する西 3・4・9 号線の整備もなされなければならぬ。この状況の中で市としては、どのようなことができるのか。

市長 条例等の法令遵守や都が計画している都市計画道路の事業進捗等の状況把握に努め、(仮)西東京キヤンパス周辺地域の問題課題を解決できるよう地区計画を取りまとめていくことが市の役割である。今後、東大と協議をしていく。

子育て・障害者について

質問 平成 22 年 4 月 1 日現在で 3 歳未満の待機児童数は 169 名だが、今後の対策は。

市長 障害者施策推進区市町村包括補助等の活用により問題なく運営されていると聞いている。主に精神障害者が利用対象である事業所は定期的な利用が難しい面もあるので工夫している。

意見

学校施設適正配置・適正配置は、中原小・ひばりが丘中の建て替えを含めて、しっかりとした再編プランを示し、地域住民・議会の声を聞くべきだ。



田無庁舎



保谷庁舎

市長 民間活力を利用し新たに私立認可保育園 2 園と分園 1 園が平成 23 年 4 月に開設するが、昨年度よりも保育園の申し込みが増加しており、厳しい状況が続くものと考えられる。

質問 子ども手当の財源については、全額国庫負担とすべきである。市長は「地方が求める姿になっていない」と述べている。そうならば、そのような対応をすべきである。

市長 全額国庫負担となるよう全国市長会等から要望している。一部の地方公共団体が一般財源負担をしないという意思表示をしていることも承知している。

質問 障害者自立支援法に基づく新体系事業移行についての法内化の状況は。運営上、不安定要素の多い精神障害者施設はどのようになっているのか。

市長 障害者施策推進区市町村包括補助等の活用により問題なく運営されていると聞いている。主に精神障害者が利用対象である事業所は定期的な利用が難しい面もあるので工夫している。